

議事録

令和8年度 第1回 富田林市立図書館協議会 議事録

主管課 生涯学習部 中央図書館

- 1 開催日時 令和8年7月23日（木） 午1時30分～午後3時
- 2 開催場所 富田林市立中央公民館 1階講座室
- 3 出席者 【委員】松井 純子（委員長、大阪芸術大学）、
藤井 郁子（副委員長、富田林子ども文庫連絡会）
中島 芳昭（公民館運営審議会委員）、藏田 和子（人権擁護委員）、
岡田 奈未子（青少年指導員）、下野 恵子（富田林おはなしの会）、
佐伯 穂高（校長会 図書館担当）、【計7人出席】
（井尻 みや子（元図書館長）、木下 みゆき（大阪大谷大学）、
石田 安志（園長会 図書館担当）は欠席）
【事務局】植野教育長、北野生涯学習部長、
山本中央図書館長、木下金剛図書館長
清水中央図書館館長代理（記録）、岡金剛図書館館長代理（司会）
- 4 開催形態 公開（傍聴人0人）
- 5 次第
 - (1) 教育長挨拶
 - (2) 委員長・副委員長の選出
 - (3) 委員長挨拶
 - (4) 報告並びに議案
報告第1号 令和7年度図書館活動報告について
報告第2号 令和8年度施政方針について
議案第1号 令和8年度図書館活動計画について
 - (5) その他
- 6 審議の経過および審議会等の結果等 要点筆記
傍聴希望者：なし

●報告第1号 令和7年度図書館活動報告について

木下金剛図書館長

「富田林市の図書館活動 令和7年度（2025年度）統計」の5ページ「2. 富田林市立図書館略年表」より、令和7年度の図書館活動の主なものについて報告する。

令和7年4月	緑化フェア&植木市に参加。
令和7年6月	窓口用軟骨伝導イヤホンの設置
令和7年9月	ふるさと納税型クラウドファンディングを実施 (子どもたちへ「本を届け！」図書館児童書充実プロジェクト) →12月目標達成 READYFORの富田林市立図書館のページを図書館の情報ツールとして活用開始 富田林市子育てアプリ TonTon に行事等の予定掲載開始
令和8年 1月	金剛図書館空調設備等改修工事のため臨時休館(1/4～2/27)

4月27日に津々山台公園で開催された「第32回富田林市緑化フェア&植木市」に参加。公園に人工芝を敷き、本を読むスペースを確保。本の読み聞かせや、しおり作り、折り紙遊びなどを実施し、多くの来場者を楽しんでいただく機会となった。イベント終了後には、そのまま金剛図書館へ立ち寄る参加者の姿も見られ、図書館の利用増加につながったと考えられる。また、このイベントは今年度も続けて参加している。

6月には中央・金剛図書館カウンターに、窓口用軟骨伝導イヤホンを設置。窓口に軟骨伝導イヤホンを設置することで、周囲に個人情報や相談内容が漏れることなく、意思疎通が図れ、耳が聞こえにくい方の負担を軽減できることとなった。

9月から「ふるさと納税型クラウドファンディング」を実施し、12月に目標金額を達成。当初の目的である児童書の購入費として、滞りなく活用させていただいている。まずは令和7年度分として合計378冊の児童書を購入し、蔵書として受け入れ済み。これにより、子どもたちが本と出会い、学び、想像力を育むための図書館環境を、より一層充実させることができた。

購入した資料の内訳は以下の通り。

①読み聞かせに活用する資料の充実

赤ちゃん絵本やワクワクするストーリーの絵本など、読み聞かせがより楽しくなる資料を

159 冊購入。

② 学校支援に活用する資料の充実

小学校の調べ学習や読書活動に役立つ図鑑、科学絵本などを 126 冊購入。学校からの団体利用時や、夏休みの自由研究など、子どもたちの学習意欲を育む一助となることを期待。

③ 海外にルーツを持つ子どもたちに向けた資料の充実

多言語絵本を 93 冊購入。これにより、様々な背景を持つ子どもたちが図書館を安心して活用できる環境づくりを進めることができた。

皆様のご支援により、当館の児童書コーナーは、これまで以上に活気に満ちた、多様な学びと発見の場となっている。

これらの令和 7 年度分の資料購入費は 853,446 円。目標金額を超えてご支援いただいた残金約 126 万円については、令和 8 年度以降に大切に活用させていただく。

また、クラウドファンディングシステムのウェブページで図書館の情報を公開中。現在も折に触れて更新していることを報告。

図書館の情報については、富田林市子育てアプリ TonTon にも掲載を始めた。子育て世代にイベントなどの PR を行い、図書館の利用促進を図っている。

1 月からは金剛図書館の空調設備等改修工事のため臨時休館。ご不便をおかけしたが、新しい機器に更新し、より快適に過ごしていただけるようになった。

令和7年度の統計について報告する。

貸出冊数について（「令和7年度図書館活動報告」10ページ「7 利用統計」（1）「年度別貸出冊数」より）。

令和7年度の貸出冊数の合計が537,299冊で前年度に比べ約6.3%の減となり、児童書も貸出冊数156,273冊で前年度比、約7.5%の減となった。

予約件数について（「令和7年度図書館活動報告」14ページ② 年度別予約件数より）。

令和7年度の合計が110,174件、前年度と比較すると約7.8%の減となっている。

貸出・予約件数が減少したことは金剛図書館が空調設備等改修工事のため約2か月の臨時休館の影響によるものと考えている。令和2～3年度の新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館以降、外壁や空調などの施設整備、図書館システムの更新などで

臨時休館が続き、減少傾向が続いてるが、施設整備については令和7年度で一区切りついたため、今後はさらに資料収集・整理に専念し、利用者満足度の向上に努めていく。

12 ページの(3)年齢別貸出人数の表の一部についての補足。

表の右下部分「その他」の行、一番右の数値が前年度比 5020%になった理由について。

令和 6 年度末にシステムを更新したことに起因する。

旧システムでは図書館職員が作業のために使用した館内貸出などの数が、通常の貸出人数の中に入っていたが、新システムになって、利用者区分を明確に分けて統計を取れるようになったため、館内貸出という、一般の利用者でない区分を「その他」に振り分けることが出来るようになった。

これによりその他の人数が令和 7 年度に急に増えたが、今後より正確に利用者数の状況がわかるようになった。(令和 6 年度の 49 人は仮登録、年齢無し)

ブック便について（「令和7年度図書館活動報告29ページ（4）ブック便」より）。

令和7年度の貸出利用校が16校、貸出冊数が4,099冊である。6年度は14校、4,213冊だった。冊数は114冊減少したが、新たに2校増加した。

学校司書の方々と連携し、今後も子どもたちの教育の場を支援していく。

学童クラブ配本便について（「令和 7 年度図書館活動報告 30 ページ(6)学童クラブ配本便」より）。

令和6年度12,667冊、令和7年度は13,399冊で、732冊の増加。

学童クラブ指導員の方々と協力し、順調に利用いただいている。

幼稚園・保育園つつじ号について（「令和7年度図書館活動報告30ページ（7）幼稚園・保育園つつじ号」より）。

令和7年度の訪園数と貸出冊数は、幼稚園14園で1,049冊 保育園20園で1,358冊である。前年度の幼稚園の訪園数は8園、貸出冊数514冊だった。新たに6園増え、貸出冊数も353冊増と大幅に増えている。前年度の保育園の訪園数は18園、貸出冊数1,415冊だった。2園増えたが貸出冊数については57冊の減少となった。保育園での貸出冊数は減少したが、全体的に要望は増え、巡回も定着してきており、先生方も慣れた様子で準備してくれている。つつじ号が到着すると、子どもたちが笑顔で待っているため職員の励みにもなっている。

行事について（「令和7年度図書館活動報告」32ページより）。

文学講座「中世における大阪の立ち位置」は大阪公立大学の仁木宏先生にご講演いただいた。参加者は興味深く熱心に聞き入っていた。

「子ども読書活動推進講演会」は『子どものほめ方、しかり方』をテーマに佐藤まどか氏にご講演いただいた。子どもをどう叱っているかわからない、叱るという対応が合っているかわからない、というような保護者の悩みに寄り添いながら子育てのポイントを教えていただいた。

「おとなのための朗読会～音で楽しむ読書～」朗読ボランティアくさぶえの協力のもと開催した。前年度に引き続き大盛況で、10月3日に金剛図書館で、11月14日は中央図書館で開催した。

そのほか例年開催している行事については、一覧表の通り。

●質疑応答

【委員】

クラウドファンディングで外国にルーツのある子どもの本を揃えたとのことだが、何語を揃えたのか。

【事務局】

一番多いのがベトナム語。英語や中国語、ネパール語、ハングル・韓国語といったものを揃えた。

【副議長】

大阪府立図書館で外国語の絵本セットを持っている。小中学校で多言語の絵本を活用したいということがあれば、府立図書館にも相談し、借りることも可能。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」12ページ年齢別貸出人数について、13、15、16、18歳が随分と少ない。中高生になると本を読まなくなるのか。学校図書館が充実しているからなのか。幼い子供に力を注ぐのは当然だが、中高生向けにも力を入れていけばよいと思う。ビブリオバトルなど。

【副議長】

ビブリオバトルに関しては、大阪府の読書活動推進計画の中に入っており、11月ごろに大阪府でビブリオバトルの大会が行われている。各中学校でも、おすすめ本のトーク大会のようなものを司書の方々と相談し、活発にしていただけると嬉しいと思う。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」26ページ本が読みづらい方へのサービスにつ

いて、デージー図書の貸出が令和7年は0になっている。デージー図書も高齢者の方に借りていただけるような方向になればよいのではないかと思う。

【事務局】

デージー図書の貸出についてはPRなど課題となっているので、今後検討していきたい。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」5ページに令和7年6月に軟骨伝導イヤホンを窓口に設置とあるが、設置に至った経緯、またそれぞれ何台ずつ設置しているのか。

【事務局】

最初の経緯は市役所の市民窓口課から声が上がった。全庁的に必要な課があれば一緒にということで図書館も手を挙げ設置にいたる。設置数は金剛図書館1台、中央図書館1台、東分室はなし。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」15ページ令和7年度相互貸借冊数について、松原市と河内長野市が多い理由は何か。それから、松原市は借り受けが多いが貸出が少ない理由もわかれば教えて欲しい。

【事務局】

特定のジャンルを好む常連の利用者がおり、そのジャンルについて所蔵が豊富なのが松原市だったため松原市の借り受けが増えた。河内長野市は直接連絡便があり、物流が他市よりも多いというのが要因だと思われる。

松原市からの申込は他の市町村とそれほど変わらないからではないか。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」23ページ雑誌名一覧について、令和6年度から令和7年度に購入を中止したという一覧はあるが、中止した理由と新規の雑誌がない理由について説明して欲しい。

【事務局】

雑誌の中止については休刊雑誌が増えているため。新規の雑誌がないのは他の雑誌の単価がどんどん値上がりしており、購入中止となった雑誌があったとしても追加するほどの予算がないため。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」17ページレファレンス件数について。書庫の出納の部分だが、図書館に本を借りに行くとき自分の借りたい本がよく書庫に入っている。出来たら子どもたちが本を借りに行くときに閲覧室の本棚に本が並んでいるのが理想のため、季節に合った本などは書庫に入り続けているのではなく書架に出して欲しい。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」29ページ学校司書連絡会議と学校司書研修会について、どんなことをしているのか。講師を招いたりしているのか。

【事務局】

学校司書の方が集まっての学習会のため、外部からの講師を招いたりしていない。情報交換などをされている。学校司書連絡会議は教育指導室の方も参加されていて、研修会は司書のみでされているという違いがある。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」31ページ子ども読書活動推進計画について9年度目標を立てているが、具体的に目標を達成するためにどのようにしていこう、というようなことを決められているのか教えて欲しい。

【事務局】

学校、児童館、学童クラブなど、それぞれの課については各々で頑張っていていと思う。図書館に関しては日々の仕事を丁寧に行き、外へ出ていく活動を増やすなど、いろいろな方法を取って利用者を増やせていけたらと考えている。

【委員】

「令和7年度 富田林市の図書館活動」30ページボランティア団体について。活動報告に記載されていないが、市内の小学校で保護者による絵本の読み聞かせの会というのがある。そういった方たちのこことも図書館の人たちには知っておいていただきたい。

【事務局】

ご紹介ありがとうございました。

【委員】

富田林市の図書館活動の府内統計について。市民1人当たりの図書館費の部分だが、図書館の活動報告では2,321円だが、府内統計では1,085円になっている。どういうことなのか。

【議長】

府内統計についてはまた最後で取り上げるので、そこで再度取り上げて欲しい。今の

件だけ事務局は回答しておくか。最後にするか。

【事務局】

回答。人口は合っているが、図書館費の歳出方法と活動報告の算出方法が違うのでどうしても値はかわってしまう。府内統計は府下全域同じ算出方法で出しているの、若干の違いがある。

【委員】

委員長に箕面市の事例を紹介していただいたが、本校は昨年度オーサービジットで道徳の教科書にも載っている中川洋典さんという絵本作家に講演していただき、作家の思いや作家自身の読み聞かせという良い経験をした。

校区内に図書館があるのは小学校では2校で、校区内に金剛図書館がある高辺台小では図書館と一緒に何か出来ないかという話を1学期にさせていただいた。2学期からは子どもたちのおすすめ本の紹介など一緒にやっていきたいと思いますところである。何かできることから進めていきたい。

おはなしの会の皆さんにはいつも楽しみにさせていただいている。

●報告第2号 令和8年度施政方針について

木下金剛図書館長

令和8年度は市長の2期目の任期の最終年度であり、同時に女性参政権行使及び日本国憲法公布から80年、日本が批准している国際人権規約採択から60年、障害者の権利に関する条約採択から20年という節目にあたる。また、熊本地震から10年、東日本大震災から15年「南海トラフ地震」のひとつとして知られる「昭和南海地震」から80年の年でもある。

この中で市長が1期目から市政の目標として掲げている、誰もが「富田林に生まれて良かった、暮らして良かった、長生きして良かった」と言える富田林の実現に向けて、市政運営に取り組んでいく。

「令8年度施政方針」に、文化振興に関する部分を抜粋している。

図書館では、こどもたちが常に本と触れ合えるよう、4か月児健診時におけるブックスタート事業をはじめ、学校図書館や学童クラブへの配本及び自動車文庫の幼稚園・保育所への乗入れを継続。また、中央図書館が、開館50年を迎えることから、これまで図書館を

支えていただいた市民の皆様に感謝し、今後も「市民の暮らしに図書館を」を合言葉に、図書館活動を一層推進するため、作家を招いての講演会やこども向けイベントなどを、年間を通じて市民参加型周年行事として開催していく。さらに、前年度に実施した、クラウドファンディング型ふるさと納税「図書館児童書充実プロジェクト」では、多くの温かいご支援をいただき、寄附金については、児童書の購入など子どもたちの読書環境の充実に活用していく。

今後もさらに多くの資料を提供し、より一層暮らしに身近な図書館であり続けられるよう努めていく。

●質疑応答

【議長】

今の説明について意見や感想等あればお願いしたい。特に異議は無いようなので、これに賛同いただいているということで良いと思う。

●議案第1号 令和8年度図書館活動計画について

山本中央図書館長

資料「令和8年度図書館活動計画 図書館予算」より

令和8年度予算について。

はじめに訂正をお願いしたい。上段の表の下から5つ目「工事請負費」が0円になっているが、金剛公民館図書館空調改修工事2期と去年のもの残っているため、斜線で消していただきたい。

職員人件費を含めた図書館費は1億8,381万4千円。今年度の一般予算に占める図書館費の割合は0.34%になっている。

主な増減を説明する。

「人件費」について1,496万6千円の増額。

「資料費」の総額は70万円の減額。これはクラウドファンディングの寄附金の予算の増減があり、減額が多く見えるが、クラウドファンディングの予算を考慮しない形で計算すると、令和7年度と比較して19万円の減額となる。

「管理運営費」は7,224万9千円の減額となっているが、この減額については令和7年度の実施した金剛図書館公民館の空調の2期工事が7,100万円入っているため、工事費を

抜くと124万9千円の減額となっている。

「図書館費」の総額は、5,798万3千円の減額となっているが、令和7年度の工事費を抜くと実質約1,300万円の増額となるが、人件費が約1,500万円に増加しているので、実質図書館費としては、200万円の減額となる。

最後に令和8年度予算については全体的に見て、工事もなく変更部分もないが、中央図書館の50周年事業として委託料として30万円、消耗品として5万円の計35万円を新たにいただいている。

資料「令和8年度図書館活動の図書館事業」より

今年度は年間を通じて50周年事業をおこなうため、例年と様式を少し変更している。50周年事業での取り組みについては備考欄に図書館50周年マークをつけている。

- ・7月開催「夏休みリサイクル工作」（例年通り両館で開催。50周年マーク付き）
- ・8月開催「やってみよう！図書館の仕事 夏休み」（例年通り両館で開催。50周年マーク付き）

- ・8月開催「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」（50周年マーク付き）

単発企画で1泊2日で7体のぬいぐるみに図書館で泊まってもらう。お迎え際にお泊りの様子を記念アルバムとしてプレゼント。

- ・9月開催「音楽付き朗読会」（50周年マーク付き）

京セラコミュニケーションシステムのご厚意により、9月13日(日)午後2時から中央公民館2階ホールにおいて、定員70名、テーマ「語りと歌で紡ぐ朗読会、富田林から 雨のち晴れ」で朗読してもらう。出演はMBSアナウンサーの関岡香氏、絵本講師のおおたにともこ氏、シンガーソングライターの原田博行氏の3名で行っていただく。演目は石上露子の歌や富田林の民話を織り交ぜながら60分間朗読していただく予定。

- ・10月開催「英語絵本の読み聞かせ」（50周年マーク付き）

富田林おはなしの会を講師に迎え、英語絵本を読み聞かせいただく。

- ・10月末から11月に開催。「大人のための朗読会」（例年通り両館で開催。50周年マーク付き）

富田林市朗読ボランティアグループくさぶえによる大人のための朗読会。

- ・11月開催文学講座「読書から広がる世界、大阪で紡ぐ物語」（50周年マーク付き）

ミステリー作家の有栖川有栖氏を招き、特別講演を開催する。

- ・1月から3月にかけて「音声訳ボランティア養成講座」

・記載されていないが、過去に織田作之助賞を受賞された著名な作家との特別コラボレーション企画を用意しているが、年度内実施に向け、調整中のため、公表は差し控えさせていただく。

最後になるが、各関係課との連携については本市と教育委員会が開催する「とっぴーと読もう、読書感想文コンクール」に協力、市おすすめの本の展示や貸出を行う。また、高齢介護課が主催する「認知症の本を読もうMEET富田林コンクール」では、今年度も夏休みにコーナーを設置し、チラシの配布や関連本の貸出を行う。

そのほかにも、本庁各課からの依頼に基づき世界禁煙デーや男女共同参画週間、戦争展、介護月間など、年間を通じてそれぞれのテーマに沿った、本の紹介等を例年通り行っていく。

●質疑応答

【委員】

50周年という記念の年なので、市民の方になぜ富田林に図書館が出来たのかということを知ってもらいたい。

また、中央図書館が50周年だということはあまり知られていないと思う。周知が足りないのではないか。

50周年といっているが、あまり例年と変わり映えしないように思う。これまでかかわってこられた方々に感謝の気持ちを伝えるようなことをしたらいいのではないか。

【事務局】

広報が足りない部分については反省している。6月広報に50周年の特集も掲載していただいた。50周年マークのついている行事に関しては前月が前々月あたりに広報誌に掲載している。HPにも特設ページを作っているが、広報のやり方は非常に難しく感じている。しっかり広報にも力を入れていきたい。

【委員】

一般市民の方に富田林になぜ図書館が出来たのかを知っていただくのはいいと思う。今からでも遅くないので、3月までの間に企画していただきたい。

【委員】

英語絵本の読み聞かせについてネイティブの方が読むのか？どうしてこのような企画になったのか。英語はネイティブの英語を聞かせたほうが良いと思う。なぜ英語なのか。ベトナム語や韓国語でもいいのではないか。

【事務局】

何故英語なのかというところはあるかもしれないが、ページのめくり方やよみきかせるとなると、普通の方が読むよりおはなしの会の方がよいのではないかということで、おはなしの会に英語であればどなたかいらっしゃらないかということで提案させてい

ただいたのが、ことの始まりである。

【副議長】

大阪市立で長年いろんな言語やいろんな国のルーツを持つお母さんとお子さんとのえほんのひろばというのをされている。それは国際交流のボランティア団体の方に中心になっていただいて開催している。よって、国際交流の方にこのような企画をたてたいのですが、というのを、他に活動されている方に聞いたら良いと思う。図書館の強みは本を持っていること。よって、本と場所は提供するので、国際交流の方でやっていただけないだろうか、と、もう1つ子育て世代の方でボランティアをしていただける方（子連れ可）を募集してもよいかと思う。えほんのひろばを通じてお互いの情報が交換出来るのではないかな。

子どもたちは母親に母親の国の言葉で本を読んでもらうことはとても大事なことだと思う。

ふらっと文庫はふらっとスペースという子育て支援をしている場所で開催している。子育て支援のパンフレット等も置いているので、子育て支援とも繋がっているのだから頑張っていたきたい。

【委員】

私も賛成です。国際交流協会は設立して20年になり、外国ルーツの子どもさんが富田林に増えているので。サマースクールでも国際交流協会に集まって宿題やお昼ごはんを一緒に食べたりしている。図書館も他の団体との協力関係、横のつながりというのをもっていけたらもっと豊かになると考える。

【事務局】

サマースクールに関しては図書館職員もおはなしの読み聞かせに行っている。協力関係も築いていきたい。

【議長】

図書館だけでなく他の団体との協力や連携もすごく大事だと思っている。今後も継続して取り組んでいただければ思う。

府内の図書館との比較について

【事務局】

令和7年度の第1回協議会で提案いただき第2回協議会で承認いただいたため、今回令和6年度、2年前の府内ランキングを出させていただいた。このような形で出させていただいたので、軽微な変更等であれば修正可能。確認をお願いしたい。

●質疑応答

【委員】

富田林の人口が10万5,243人。蔵書冊数が29万8千冊。羽曳野市は人口10万人で蔵書数が53万冊。河内長野市も蔵書数51万冊なので、富田林市はもうちょっと頑張っていて欲しい。

【委員】

他市と比べて登録率が高いのか？

【事務局】

先ほども申し上げた通り大阪府立の指定する数値で出すと、富田林市の登録率は高く出る。

【議長】

富田林の登録のカウントの仕方は貸出券には有効期限があって、有効期限内ならカウントされるというかたちですか。

【事務局】

その通り。

【議長】

自治体によってはその1年間に1回でも貸出を受けたらそれで利用したということで登録者として認定するが、例えば翌年1回も利用しなかった方は翌年の登録者の人数から外れるという自治体もある。よって、登録率、あるいは登録者の計算の仕方は自治体によってかなり違いがある。富田林は貸出券の有効期限が5年だが、自治体によっては8年だったり、10年だったりと違いがあり、10年なら10年そのまま登録した利用者の活動を全部通算しており、例えば泉佐野だったら5割近くになっているのはそういうことだと思われる。よって、この数字は額面通りに受けとらない方が良い数字だと思う。ただ、富田林は他の自治体の割合より優れていると思っているので、評価していいところだと思う。

【副議長】

富田林子ども文庫連絡会のメンバーでも富田林の蔵書では足りないという声がある。資料費の予算を頑張っていて確保していただけるようにお願いしたい。

それと、学校図書館に関しても1人1校専任で入ってもらえたらと思う。

【議長】

学校の司書の配置については重要なことだと思っている。国からの交付税という形で学校司書の配置のための経費の補助支援があると思うので、そういうところをしっかりと学校司書の採用に活用していただいて、すべての学校に学校司書を配置していただくという風に今後もお願いしたい。

7 会議資料

会議次第

富田林市立図書館協議会委員名簿

令和7年度（2025年度） 富田林市の図書館活動

令和8年度施政方針（抜粋）

令和8年度 図書館活動計画 図書館事業

令和8年度 図書館活動計画 図書館予算

令和6年度（2024年度）府内の統計

チラシ

「自動車文庫つつじ号巡回日程表（10月～3月）」2種類

「とっぴーと読もう！富田林市読書感想文コンクール」チラシ

「認知症の本を読もう！MEET★富田林コンクール」チラシ

今年度開催予定の図書館行事のチラシ

児童行事 「リサイクル工作」関係 3種類

児童行事 「やってみよう図書館の仕事」

児童行事 「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」

「乳幼児サービスボランティア養成講座」

本の案内

「夏のおてがみ」4種類

「えほんで子育て」5種類

「えほんいろいろ No.175」

「YA通信 第82号」

以上